



[トップ](#) [暮らしの情報](#) [文化・スポーツ](#) [生涯学習・社会教育](#)

ひので映画大使最新版

[2018年6月18日]

第93回映画大使「ピーターラビット」

- ・ 期日 平成30年5月18日(金曜日) ※公開初日!
- ・ 場所 イオンシネマ日の出

作品紹介

世界中で親しまれているビアトリクス・ポターの名作絵本「ピーターラビット」を『ANNIE アニー』のウィル・グラッグ監督がハリウッドで初めて実写映画化したファンタジー。

自然を愛する心優しい女性、ピア役を『ANNIE アニー』のローズ・バーン、大都会のロンドンからやって来た神経質な青年、マグレガー役は『スター・ウォーズ』シリーズのドナルド・グリーソンが演じる。また、ピーターの声を『イントゥ・ザ・ウッズ』のジェームズ・コーデンが担当し、デージー・リドリー、マーゴット・ロビーなどの人気俳優も声の出演で参加している。

青いジャケットがトレードマークの、元気いっぱいいたずら好きうさぎ・ピーターと、自然を愛する心優しい女性ピアが暮らす隣に、大都会から神経質そうな男性マグレガーが引っ越してくる。イギリスの美しい湖水地方の田舎町を舞台に、いたずら好きうさぎの日常や恋のエピソードを、実写とコンピュータグラフィックスを織り交ぜて軽快なタッチでコミカルに描き出す。



映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

映画大使の「第一声！」

- ★ 楽しい作品でした！
- ★ 素敵な作品だったなと感じました！
- ★ 動物が好きになったような気がしました！
- ★ コンピュータグラフィックスが、綺麗でしたね！
- ★ ウサギの表情がリアルだったなと思いました！
- ★ ピーターたちはまるで生きているみたいでしたね！



今回参加された、映画大使の皆さんです！
ピーターたちといっしょに!!

映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

最初のほうのおじさんが畑仕事をしているシーンを観ていまして、私の主人も畑仕事をしていまして、鳥や動物が畑に来るので、動物から見ますとあのような感じなのかなと思いつつ観ていました。

ピアは動物を大事にしていて、私にはあのように出来ないかなと思いましたね。

動物が好きになったような気がしました。

Bさん

ピーターたちは、コンピュータグラフィックスで描かれたものなのですよね。毛一本一本が本物のようで、表情が凄く豊かで人間のようでした。感情が表情だけでも感じ取れるようだったのは凄いなと思いましたね。

ピーターたちが、マグレガーにするはずらがなかなか凄いなと思いましたね。

楽しい作品でした。

Cさん

原作者のポターさんは、動物をキャラクターとして初めて登録して動物を描いた方だったと思います。

この作品の舞台にもなっていますイギリスの北にある湖水地方というのは、昨年世界遺産に登録されました。ポターさんはその地方に住んでいらっちゃって、そこで作品の制作をされていて、現在はギャラリーがあり、原画が展示されている事で人気を集めている場所であると伺っています。

この作品の景色は、ロンドンの景色も、湖水地方の景色もそのまま、楽しんで観る事ができましたね。私が子どもの頃も、絵本の「ピーターラビット」は人気がありましたが、この作品は絵本の内容とは違うところがありますが、うさぎも非常にかわいく、鳥が飛んでくるシーンなどは3Dのようで、映像が上手にできているなと思いつつ、楽しんで観る事ができました。

Dさん

私の子どもがウサギを飼いたいといって、飼っていた時があったので、ウサギが立った時に耳をピンと伸ばすところや悲しいと耳をねかせるところなど、本当に私の家で飼っていたウサギのようだなと思いました。そのウサギはもう亡くなってしまって家にいないのですが、家にいた時には心をほっこりさせてくれたり、心を癒してくれていたなと思いつつながら観ていましたね。

どれだけウサギを見て研究したのだろうと思うくらい、ウサギの表情がリアルだったなと思いました。

Eさん

私は、雌鶏と、すずめがかわいいと思いました。

コンピュータグラフィックスが、綺麗でしたね。

Fさん

最初のシーンですずめが歌って踊っているところを見てびっくりしたのですが、楽しいなと思いました。

映画を作っているかたたちが一番楽しんでいるのではないかなと思うくらい、やりたい放題やっていて、楽しいな感じましたね。

マグレガーとピアとの距離が少しずつ近づいていくところを観ていたときに思った事があります。元々マグレガーは少し癖がある人でした。他の作品で「人は人によって変われる」という素敵な言葉を聞いた事があるのですが、マグレガーとピアの二人の距離感とか、マグレガーが自分のやりたい事や夢を手に入れたりする事が一番良いかたちで叶えている事が素敵だなと思いました。二人の距離感とか動物との心のふれあいとか、ポップなところもたくさんありましたが、素敵な作品だったなと感じました。

Gさん

私も最初のシーンですずめが振りをつけて踊っていた事にびっくりしました。その後どうなるのかなと思いつつ、ワクワクしましたね。その後、ピーターが出てきたのですが、コンピュータグラフィックスで見事に描かれていまして、表情も豊かだったのですが、特に目が凄かったです。目でものを言っていましたね。それが凄いなと思いましたし、どうやって作ったのかなと思いました。

ピアとマグレガーの人を好きになる事は、どうにでもなってしまうものだなと思いましたね。人はうまくいくように近寄っていくものなのだと思いますので、世の中うまく出来ているものだな、と感心しながら楽しく観る事ができました。

作品を観終わってこの会議室に入ってきましたら、会議室にもピーターと仲間がいて(会議室にピーターたちの置物が用意されていました)それが凄くリアルでびっくりしました。楽しかったです。

Hさん

昨年の8月に東京富士美術館でピーターラビット展がありまして、見に行きましたら、短編の物語がいくつも展示されていました。それを読みましたら、え〜と思う内容のものもありましたね。この内容では絵本として出版できないのではと思うものでした。事実を元に描かれているのですが、絵本で表現するのはちょっとな、と思いましたね。原作者のポターさんは事実をそのまま表現する方なのだなと思いつつ、びっくりしていました。そのような事がありましたので、この作品はどのような作品になるのか楽しみにしていました。

今日観まして、痛快でしたね。人間よりも賢い動物には魅力があるなとも思いました。そこまでやるのかと思つたりもしましたが、そこまでやったから笑えるという部分もありましたし、人間は自然と共存共栄する事が出来ない事はないのだなとも思いましたね。生

きているもの同士は、通じ合えるものがあるのだなとも思いました。共存共栄できたのは、やはり大自然の中だからだとも感じましたね。

面白く楽しく動きが速いのがなんともいいですね。

ピーターたちの目に凄く魅力を感じました。目は良く見ますとそれぞれみんな違いましたね。その微妙な差を表現する技術が凄いなと思いました。

迫力がありますし、ピーターたちはまるで生きているみたいでしたね。

面白くて、楽しくて、笑える作品でした。

作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・字幕の字が大きくて短かったので読みやすく、読み終わるので良かったですね。
- ・英語のセリフをそのまま訳して字幕にしていないところもありましたね。
- ・コンピュータグラフィックスが凄いですね。まるで本物のウサギのようでした。
- ・ウサギがまるで写真のようでしたね。
- ・イギリスの湖水地方は、原作者のポターさんが「ピーターラビット」を描かれた場所で、発祥の地なので観光で訪れる方は多いでしょうね。
- ・物語やセリフにあまりこだわらず、ハイテンポの音楽にのって、笑いながら観るような作品でしたね。
- ・雄鶏のキャラクターがよかったですね。
- ・動物の性格などをうまく使った、発想が面白いですね。
- ・「ピーターラビット」は、カップやお皿などの食器などにも描かれており、日本に定着しているキャラクターですよ。

まとめ

この作品は、古くから絵本や食器などのグッズなどで日本でも親しみのある「ピーターラビット」を題材にただけあり、大使の方からの注目度も高かったです。

大使の方からのご意見も多く、話が尽きないような状況になり、話し合いも盛り上がりました。

内容としましては、もちろん原作の「ピーターラビット」の物語のままではなく、今風にアレンジをし、コンピュータグラフィックスを駆使し、作品を作りあげていますが、本来の「ピーターラビット」の要素はしっかりと持っている作品になっています。ピーターを含めたウサギなどの動物がリアルで、映像が綺麗なところに目が行きがちですが、各場面での音楽の選定のセンスや、いろいろなところででてくる動物の行動の面白さ、そしてスピード感がある話の展開など魅力が多い作品となっています。

今回の映画大使では、字幕版を鑑賞しましたが、違和感なく観る事ができ、観終わった後にリフレッシュした気持ちになる事ができました。伏線もしっかりとあり、動物と人間の絆も描かれており、吹替え版もあるため小さなお子様から大人の方まで楽しみながら観ていただける作品だと思います。

映画は是非、劇場の大スクリーンでご覧ください！

映画大使では、年代も性別も違う方達が、それぞれ意見を出し合いひとつの映画について話し合うという、日ごろできない経験をすることが出来ます。映画を観て自分がこう思っただけではなく、年齢や経験などの違う人の目線で観たことを聞くことにより、違った発見があるので、ひとつの映画が何倍にも広がって行きます。

今後も「ひので映画大使」にご期待ください！！

関連ページ

- [これまでのひので映画大使](#)
- [ひので映画大使のトップに戻る](#)

ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

送信

お問い合わせ

東京都 日の出町 文化スポーツ課 社会教育係
電話: 042-597-0511 (内線541) ファクス: 042-597-6698

ひので映画大使最新版への別ルート

[トップ](#) [新着情報](#)

Copyright (C) Hinode Town All Rights Reserved.